



三原聡一郎

「[空を越える為の余白](#)」(2013)

(エアーポンプ、電源制御回路、水、シャボン液、グリセリン、エタノール)

作者のことば

2013.

改めて自分の国を考え続けている。

大きな変化が起り、小さい変化が現れはじめています。

総じてその不定形なイメージは今も現在進行形で移ろい続けています。

この変化のイメージをそのままに近い状態で提示したかった。

三原聡一郎 Soichiro Mihara

アーティスト。1980年東京生、現在、京都を拠点に国内外の現代美術、メディアアートを中心としたフィールドで活動中。音響を基軸に、表現におけるメディアの可能性を模索し、常に世界に対して開かれた、純粋な芸術としてのシステムの提示をテクノロジーによる新しい自然を目指すために行なっている。2012年より空白をテーマにしたプロジェクトを展開。近年の主な個展に「空白之界」(2013、關渡美術館、台湾)、グループ展に「SOUNDART - sound is a medium of art」(2012、ZKM、ドイツ)、「OPEN SPACE2012」(2012、NTTICC、日本)、「Simple Interaction - soundart from japan」(2011、ロスキレ現代美術館、デンマーク)、「ISEARUHR2010」(2010、クストヴェレインドルトムンド、ドイツ)等。2013年は、台北、ベルリン、パースなどでアーティスト・イン・レジデンスに招かれるなど、近年とみに国際的な飛躍が目されている。バイオリジカル・アートにも強い関心を示している。アルスエレクトロニカ、グッドデザイン賞など、国内外で受賞多数。

<http://mhrr.jp>